「ドローンの先進利用動向」(概要)

2022 年中に、ドローンの有人地帯（第三者の頭上）における補助者なしでの目視外飛行、つまり、空の産業革命に向けたレベル４が解禁される見込みです。いわば、ソフトウェアで自律航行する飛行ロボットが、生身の人間と近接して共存する時代の到来です。飛行ロボットの衝突や墜落の危険を人間が察知して回避することは難しいので、人間に危害を及ぼさないよう、飛行ロボット側には衝突や墜落を防止する高度な安全対策技術が求められるところです。また、飛行ロボットが第三者の頭上を航行する上で必要となるルール（飛行の許可、飛行の承認、機体の登録、機体の認証、操縦資格）を、航空法において定めて適切に運用していくことにより、人間との安全・安心な共存を実現していかなければなりません。そこで、本セミナーでは、飛行ロボット化するドローンに求められる安全対策技術について、レベル４の解禁に向けた航空法の改正動向を踏まえて、分かりやすく説明します。。